

2014年度食創会「第19回 安藤百福賞」募集要項

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団の食文化振興事業を担う『食創会』（会長：伊藤正男 理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問）では、新しい食品の開発に貢献する独創的な基礎研究、食品開発、およびベンチャーを対象とした「安藤百福賞」表彰事業を行っています。

『食創会』の創設は、日清食品の創業者で、安藤財団の創設者である、安藤百福の提唱によるものです。

2014年度も下記のとおり「第19回 安藤百福賞」受賞候補者の募集を行い、「大賞」、「優秀賞」並びに「発明発見奨励賞」の表彰を行いますので、ふるってご応募ご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 主 催

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

2. 後 援

文部科学省

3. 受賞対象者

新しい食品の開発に貢献する次の分野における研究者、開発者、およびベンチャー起業家（原則として個人）を受賞対象者とします。

- ・新しい食品の創造に繋がる、食品の基礎科学に関する独創的かつ将来性豊かな学術的基礎研究を実施した者。
- ・独創的な技術開発又は発想により新しい食品を創造し市場を創造した者、又は新しい食品の創造に繋がる新規の食品加工技術等を発明した者。
- ・独創的な食品加工技術や流通システムなどを開発しベンチャーを起業した者。

4. 表彰種別並びに副賞（賞金）

- ・大 賞（副賞 1,000 万円）／全応募者の中から 1 件以内
- ・優 秀 賞（副賞 200 万円）／全応募者の中から 3 件以内
- ・発明発見奨励賞（副賞 100 万円）／全応募者の中から 3 件以内

全応募者の中から優秀と認められた方に「優秀賞」、特に優秀と認められた方に「大賞」を贈呈します。「発明発見奨励賞」は、大学等の公共研究機関に所属し、食品の基礎研究や食品開発研究に携わる若い研究者、開発者（原則として40才未満）、並びに大きな組織に頼らずに独自の研究、開発を進めている方（中小企業の技術者など）を受賞対象者とし、特に将来性の高い優秀な研究や開発を実施している方に贈られます。対象の適否は審査委員会並びに食創会役員会で判断させていただきます。

5. 応募の方法

応募は本人の申請（自薦）もしくは第三者の推薦によるものとします。指定の応募用紙に必要事項を記入して『食創会』事務局まで送付して下さい。応募用紙は安藤財団ホームページよりダウンロードも可能です。応募内容を裏付ける資料等があれば、添付資料として応募用紙に添付して下さい。応募用紙は選考時の資料として取り扱いますので、注意事項に従いもれなく記入して下さい。又、審査委員会等で必要と認められた場合は、追加資料の提出を求められることがあります。尚、応募に当たって提出された資料は、返却致しませんので、ご了承下さい。

6. 応募期限（締切）

2014年9月末日到着分まで

7. 選考

審査委員会で予備選考を行った上、食創会役員会にて大賞・優秀賞・発明発見奨励賞を決定します。なお、選考の結果、各賞共に該当者なしの場合もあります。叙勲、褒章並びに他の顕著な賞を受けられた方は原則として受賞の対象外と致します。選考結果は、文書により本人・推薦者に通知します。

また、本年度選外となった応募について、役員会の決定により次年度の受賞候補となる場合があります。

8. 選考基準

- ・驚きの気持ちを引き起こすような斬新で独創的なもの。
- ・特許申請、論文著書等、知的財産としての価値があり、生産性が高いもの。
- ・科学技術の世界や社会一般へ強い影響力があるもの。
- ・実績、知名度が低くても、将来性を期待できるもの。
- ・食育推進への貢献度が高いもの。

9. 発表並びに表彰

2014年12月に、安藤財団ホームページほか、新聞等で受賞者を発表致します。表彰式は2015年3月の予定です。

10. 応募書類等の送付・問合せ先

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団内『食創会』事務局
〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8番25号
電話 072-752-4335 FAX 072-752-1288
ホームページ <http://www.ando-zaidan.jp>

食創会役員（2014年度）

会長	伊藤正男	理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問、東京大学名誉教授
副会長	荒井寿光	東京中小企業投資育成株式会社 相談役、元特許庁長官
役員	安藤宏基	公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長
	石毛直道	国立民族学博物館 名誉教授
	香西みどり	お茶の水女子大学大学院 教授
	川本八郎	学校法人立命館 名誉顧問
	西藤久三	一般財団法人食品産業センター 理事長
	竹下景子	国連WFP協会 親善大使、女優
	西成勝好	公益社団法人日本食品科学工学会 会長
	古谷史旺	日本弁理士会 会長

(2014年5月 / 敬称略・五十音順)

以上

応募用紙記入上の注意

1. 記入後の応募用紙は選考時の資料として使用します。応募業績の裏付けとなる別紙資料添付による補足説明は歓迎しますが、その場合でも、応募用紙内の各項目にも簡潔に記入して下さい。
2. 応募に関連するサンプル（商品など）がありましたら、応募と同時にお送り下さい。
3. 第三者の推薦による応募の場合で推薦状をご準備いただく場合は別紙で添付して下さい。推薦状は必須ではありません。
4. 知的財産権等に係る応募書類の取扱に関するご要望・ご質問は事前に事務局までご連絡下さい。
5. 応募用紙の書式は変更しないようにお願いします。

2014年度食創会「第19回安藤百福賞」応募用紙

事務局使用欄（記入不要）

『食創会』～新しい食品の創造・開発を奨める会～

会長 伊藤 正男 殿

応募日 2014年 月 日

応募テーマ名 [簡潔にご記入下さい]

応募者 (受賞候補者)	(フリガナ) 氏 名	性別 男・女 / 年齢 才		
		(生年月日 西暦 年 月 日)		
	所属・職名			
	所属会社等の所在地	〒 電 話 () -	FAX () -	
	E-mail :			
自宅住所	〒 電 話 () -	FAX () -		
E-mail :				
略 歴				

応募内容 [別途補足資料添付の場合でも要約は必ずご記入下さい]

上記の者を安藤百福賞の受賞候補者として推薦します。 [自薦の場合は記入の必要はありません]

年 月 日

推薦者 氏名 :

所属・職名 :

連絡先住所 :

電話番号 () - FAX () -

E-mail :

応募内容についての説明 [別途補足資料添付の場合でも応募内容に即して可能な限り要約又は代表的なものをご記入下さい]

独創性に関する説明
実用化状況に関する説明（製品化されている場合は過去3年程度の販売実績（売上高と販売数量））
波及効果並びに経済効果に関する説明
将来性に関する説明
研究論文・発表文献等 [本件応募に関連する代表的なものを添付資料とし、提出して下さい]
特許出願等 [本件応募に関連する特許・実用新案の出願・公開・登録番号を記入し、添付可能な公報等は提出して下さい]
過去の受賞歴 [本件応募に関連して受賞されたものについては、その旨明記下さい]

【アンケート】安藤百福賞のことを、どのようにお知りになりましたか？（○をお付け下さい）

1. チラシ・ポスターで知った（場所：)
2. インターネット・メルマガで知った（サイト等：)
3. 雑誌・学会誌で知った（誌名：)
4. 紹介された（紹介者：)
5. その他（)

食 創 会

～新しい食品の創造・開発を奨める会～

食創会は、日清食品の創業者で、安藤スポーツ・食文化振興財団の創設者である、安藤百福の提唱により、1996年6月に設立されました。

設 立 の 趣 旨

人類が到達したすばらしい文明・文化は、人類の限りない創造的精神によって生み出されました。21世紀を越えて、繁栄を持続するためには、これからも発明・発見の意欲をさらに高揚していく必要があります。とくに、人類生存の根源である“食”について、より緊急を要する課題であり、私たちが『食創会』設立を提唱するゆえんであります。

人口の急増、地球環境の悪化を背景に、食糧危機が予測される今、私たちは英知を集め、食品産業に独創的な技術革新の波を起こしていかなければなりません。

基礎技術をしっかりと固め、バイオテクノロジーなどのあらゆる先端技術を駆使して、新しい食品、生産・加工の技術を生み出し、かつて敗戦の焦土から発想された即席めん産業が世界に伝播していったように、この日本から世界に向けて発信していくべきではないでしょうか。

埋もれたアイデアが、身近に眠っているかも知れません。世の中に渴望されながら、手が届かず開発・発明が待たれている技術もあるでしょう。

『食創会』は、食品産業の発展を図り、人類の繁栄に寄与するため、知恵を掘り起こし、知的財産を尊重する環境を整え、ベンチャー・スピリットを支援していきます。

以上